

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年2月28日

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール横浜センター南

保護者等数(児童数)

17

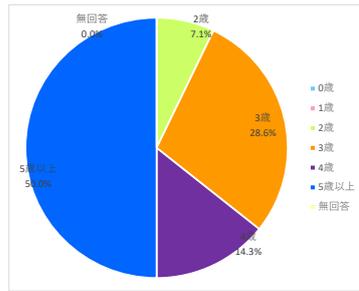
回収数

14

割合

82.4%

| 年齢構成 | 人数 | 割合 |
|------|----|-------|
| 0歳 | 0 | 0.0% |
| 1歳 | 0 | 0.0% |
| 2歳 | 1 | 7.1% |
| 3歳 | 4 | 28.6% |
| 4歳 | 2 | 14.3% |
| 5歳以上 | 7 | 50.0% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 14 | |



| | チェック項目 | 割合 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------------|---|--------|---------------|-------|-------|------|--|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | 無回答 | | |
| 環境・体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも綺麗で気持ちが良いです。 ・ベビーカーで行く場合にエレベーターが使えらるといいますが、以前管理会社とエレベーター使えるように検討していると言われましたが、まだ使える環境ではないので、引き続き検討して改善していただきたいです。 ・活動のスペースが十分にあり、整理整頓されていて活動に集中できる環境だと思う ・限られた空間の中で、工夫して色々な運動を考えてくれている。 ・運動は最初苦手そうでしたが、今では毎回のとても楽しそうに取り組んでいる。 | ③建物の住入用のエレベーターを使えるように引き続き管理会社に交渉中です。ご不便をおかけしておりますが、ベビーカーでの来所時は階下まで職員がお迎えに行かせていただきます。 ④引き続き環境を整えてまいります。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境 ^① になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ^② が作成されているか | 85.7% | 7.1% | 0.0% | 7.1% | 0.0% | <ul style="list-style-type: none"> ・質問等すると適切な答えを頂いています。これからもそのようなアドバイスをして頂きたいです。 ・普段の生活の中での困り事などにもアドバイスをもらい、とても助かっています。 ⑤個別支援計画作成時や入所後初回も見直し時期にモニタリング、同意日に計画書についての説明をより丁寧に行うようにしていきます。 今後も傾聴を重ね、分かりやすい説明を心掛けます。 | |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 85.7% | 7.1% | 0.0% | 7.1% | 0.0% | | |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 8 活動プログラム ^③ が固定化しないよう工夫されているか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流をする機会があるか | 35.7% | 14.3% | 21.4% | 14.3% | 0.0% | | |
| 保護者への説明等 | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 12 保護者に対して家族支援が行われているか | 78.6% | 7.1% | 0.0% | 14.3% | 0.0% | | |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 92.9% | 0.0% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 17 定期的にお便りやスクール内掲示、ホームページ等で、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか | 92.9% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| 非常時等の対応 | 19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 92.9% | 0.0% | 0.0% | 7.1% | 0.0% | ⑨各マニュアルに基づいて、年に2回の防災訓練を実施しています。 | |
| | 20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 92.9% | 0.0% | 0.0% | 7.1% | 0.0% | | |

| | チェック項目 | 割合 | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-----|---|--------|------|-------|--|------------|
| | | はい | いいえ | 無回答 | | |
| 満足度 | 21 子どもは通所を楽しみにしているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | ・本人が毎回楽しそうに取り組んでいるのが一番。前回本人が苦手にしてたこと、積極的に取り組んでいたことなどを指導員の方同士で共有し次週につなげているのがよくわかるので、安心して任せている。 ①引き続きお子様の発達段階をしっかりと把握しながらお子さま自身が楽しく取り組めるように工夫していきます。 ②大きなけがに繋がらないように環境に配慮します。小さなけがやけがに繋がらなかった時も保護者様にお伝えして行きます。 | |
| | 22 事業所の支援に満足しているか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| その他 | 23 お子様の成長に寄り添っていると感じられますか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 24 スクールでのお子様の様子やスクールからのお知らせはわかり易く説明されていますか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 25 職員の身だしなみに清潔感があり、笑顔で接していますか | 100.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| | 26 家庭とスクールの信頼関係はありますか | 92.9% | 0.0% | 7.1% | | |
| | 27 けがのとき、明確な説明が受けられていますか（けががない場合は、はいor未回答可） | 71.4% | 0.0% | 28.6% | | |



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。